

- 問1 流れる水が、土地の底や壁^{かべ}をけずりとるはたらきのことを何といいますか。
- 問2 平地の川原にある石が、丸みのある形になっているのはなぜですか。
- 問3 川の水の量が増えたとき、しん食・運ぱん・たい積といった「流れる水のはたらき」はどのようになりますか。
- 問4 平地で見られる川原の石の形には、どのような特^{とくちょう}徴がありますか。
- 問5 さぼうダムには、どのようなはたらきがありますか。
- 問6 台風や大雨がふって川の水の量が急に多くなったとき、川の水の流れる速さはどうなりますか。
- 問7 ていぼうは、どのような目的で川の岸につくられますか。
- 問8 川の上流にあった石が、下流に流されるにつれて、形や大きさはどのように変化しますか。
- 問9 川が曲がって流れているところで、水のはたらきによって土がけずられていくのはどの部分ですか。
- 問10 川が曲がって流れているところで、水の流れ^{おそ}が遅いために、砂や小石^{すな}がたまりやすくなっているのはどこですか。
- 問11 海の近くの川では、川の流れの速さや、すなや小石の様子はどのようになっていますか。
- 問12 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。
- 問13 大雨によって川の水の量が多くなったとき、川の水が土地^{けず}を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどうなりますか。
- 問14 川岸をコンクリートなどでかためる「護岸」を行う、一番の目的は何ですか。
- 問15 遊水地は、どのようなとき^{やくわり}にどのような役割をする場所ですか。
- 問16 川の下流にある石が、丸くて小さくなっているのはなぜですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 流れる水のはたらき（けずる）	流れる水が土地の底や壁を削り取る作用のことを「けずるはたらき」といいます。
問2	答え 山の中から流される間に、角が取れたから。	石は山の中から長い距離を流される間に、角が削り取られて丸くなっていきます。
問3	答え 大きくなる	川の水の量が増えると、地面を削るしん食、石や砂を運ぶ運ばん、それらを積もらせるたい積のすべてのはたらきが大きくなります。
問4	答え 角が取れて、丸みがある。	平地で見られる川原の石は、山の中から流される間に角が取れて、丸みのある石になります。
問5	答え 川底が削られたり、石や砂が一度に流れたりするのを防ぐはたらき	さぼうダムは、川底が削られるのを防ぎ、大雨などで石や砂が一度に下流へ流れるのを防ぐために作られます。
問6	答え 速くなる	台風や大雨などで川の水の量が急に多くなると、水の流れる速さは速くなります。
問7	答え 川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないようにするため。	ていぼうは、川の水の量が増えたときに川の岸がけずられないようにするためにつくられた壁です。
問8	答え 小さく丸くなっていく	川の石は、上流から下流へ流されるにつれて、だんだんと小さく丸い形に変化していきます。
問9	答え 曲がっているところの外側	川が曲がって流れているところでは、外側の土が水にけずられていきます。反対に、内側には土が積もっていきます。
問10	答え 曲がって流れる川の内側	川が曲がって流れているところの内側は、水の流れが遅くなるため、運ばれてきた砂や小石がたまりやすい特徴があります。
問11	答え 流れがおそくなり、すなや小石が積もる	海の近くでは川の流れがおそくなるため、上流から運ばれてきたすなや小石が底に積もるようになります。
問12	答え たい積	流れる水が土や石を積もらせるはたらきを「たい積」といいます。
問13	答え はたらきが大きくなる	大雨で川の水の量が多くなると、土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきが大きくなり、災害につながる場合があります。
問14	答え 川岸が削られるのを防ぐため。	護岸は、流れる水のはたらきによって川岸が削られるのを防ぐために行われます。
問15	答え 川の水が増えたとき、人が住む場所に水があふれないよう、一時的に水をたくわえる。	遊水地は、川の水が増えたときに、人が住む場所へ水があふれないように一時的に水をたくわえるために作られます。
問16	答え 流れる水に運ばれるうちに、石がけずられたから	上流にあった石が、流れる水によって運ばれるうちにけずられたため、丸くて小さくなります。